

令和6年 かけがわ市政10大ニュース

令和6年12月18日

掛川市

順位	項目
1	掛川西高校野球部が選手権大会で優勝。26年ぶり夏の甲子園決める（7/29）60年ぶりに夏の甲子園で勝利。大応援団が球場に駆け付けた（8/10）
2	【掛川城天守閣が開門30周年。多くの市民が節目祝う】 30周年迎える（4/3）、天守閣・門堀などの修復工事が完了。30年前の姿を取り戻す（9月末）記念式典を開催（10/19）、「皆の衆、出陣じゃ！」の掛け声を合図に約300人の市民が駅周辺をパレード（10/27）城泊キャンプ、スカイランタン打ち上げ、シンポジウム、大茶会など、盛りだくさんのイベントなどが行われた（～11/17）
3	【災害に備える機運が高まる】 ・能登半島地震（震度7）が発生（1/1）、緊急消防援助隊が出動。市消防本部が延べ41人を現地に派遣（1/1～21）水道課職員が現地で応援給水（1/21～26、3/21～23）・今沢区をはじめ沿岸部の住民や企業が市内初の夜間津波避難訓練（3/2） ・集中豪雨により上土方地区 341世帯 995人を対象に一時「緊急安全確保」発表（7/16） ・日向灘を震源とする最大震度6弱の地震が発生。南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発令。一週間の事前配備体制、市民に注意を呼び掛けた（8/8～15） ・過去最大級台風10号が日本列島を横断、ゆっくりとした速度で進み各地で記録的大雨、災害対応長期化。市内で護岸崩壊や農道の崩落なども発生、全42広域避難所を長期間にわたり開設。総合防災訓練は中止（8/27～9/1） ・高校生ドローン防災航空隊が初の災害後調査に実働。災害の実態把握に貢献（9/7）
4	【コロナ後の規制緩和 お祭りなどが盛大に】 高天神社例大祭 火縄銃を5年ぶりに演出（3/31）三熊野神社大祭、盛り上がりをもせた（4/5～7）掛川大祭を6年ぶりに開催。3年に一度の「掛川大祭」大獅子、奴道中、かんからまちの三大余興や仁藤の大獅子豪快に舞う（10/11～14）
5	遠鉄ストア・マツモトキヨシ突然の休業、無印良品スピード閉店。建物の耐震性が不足、最大で14センチ沈下（11/17）
6	【国際舞台で市内在住・出身選手が活躍】 パリ・パラ自転車競技「女子個人ロードレース」で杉浦佳子選手が2大会連続の金メダル獲得。自身が持つ日本勢最年長記録を更新（9/7） 三木つばき選手、スノーボードアルペンワールドカップでツアー2勝（1/25、2/25） 塩澤晴文選手、ブライントennis世界選手権で準優勝（9/25～28）
7	第73期王将戦第4局でタイトル防衛。第6局（掛川開催）は行われなかったが、藤井王将が来掛。市内で3連覇祝賀会を行う。大日本報徳社で小中学生に指導対決（3/8～9）
8	【学校再編に向けた検討、議論進む】 小中一貫校整備検討委員会で城東学園の再編検討が始まる（7月）統合に向けて、日坂小学校の今後のあり方が議論された（9/20）市内中学校で新制服を導入（4月）
9	【茶産業の輝かしい成績】 東山茶業組合が第78回全国茶品評会（深蒸し煎茶の部）で5年連続、26回目の産地賞受賞。山啓製茶（株）が仕上げ茶の品評会である東京都優良茶品評会で、4年連続農林水産大臣賞を受賞。掛川茶フェアトレード、持続可能な取引を目指しスタート（4月～）
10	【部活動の活躍・多様化が進む】 7校12の中学校部活動が東海・全国大会出場（8月）掛川市拠点の中学女子野球チーム「中遠ガールズ」発足（5/5）公認地域クラブとして全国初の農業クラブ「報徳いもこじ農楽塾やさいクラブ」創設（7/9）
11	かけがわ茶エンナーレ2024。協働のまちづくり芸術祭に、県内外から多くの来場者が訪れる（11/2～11/17）
12	22世紀の丘公園 たまりいな屋内遊び場の工事着手（9/10）令和7年7月オープン予定。
13	【環境の持続可能性が進む】 「おむつリサイクル・ごみ減量推進会議」が市長に提言書を提出（3/14）ごみの資源化に向けた取り組み進む（製品プラスチック店頭回収実証実験、生ごみ補助、PASSTOによるリユース品回収事業など）。1人1日当たりのごみ排出量が過去最少614.5g（13年連続ベスト3・環境省一般廃棄物処理実態調査）（3月）通称「もったいない条例」が施行。毎月9日を「もったいないを考える日」に（4/1）生ごみ処理機購入費補助金スタート（6/3）、省エネ家電購入費補助金スタート（7/3）環境保全センター解体工事始まる（7/2）県行政代執行による、桶田地区の産業廃棄物不当投棄物の除去工事完了（9/30）西大谷、東大谷地区鶏糞土砂流出対策の現場着手（10/15～）
14	4年連続待機児童ゼロ。保育士の人材確保など、ソフト対策が奏功（4/15）
15	【空き家対策 多方面からのアプローチで】 タレントの松本明子さんを講師に。みんなの空き家セミナー&相談会開催（11/17）静岡理工科大の学生が中心市街地の空き店舗のリノベーション案を展示（5/17～26）空き家除却補助金が大反響。解決や解消に向けて前進する。
16	脱フルネームが広がる。市職員の名札が名字のみのひらがな表記に変更（4/1）
17	市消防本部特別救助隊「引揚救助チーム県大会優勝」実に30年ぶり。関東地区指導会へ出場（6/4）#7119救急安心電話相談窓口を開設（10/1）中東遠消防指令センターシステム10年に1度の全更新。有事に備える（～3/31）
18	【DX・機械化で市民の負担が軽減】 WEB口座振替受付サービスを導入（税・料金など計19科目。近隣に先駆け口座振替手続きのデジタル化を実施、「手のひら市役所」が進展（10/2～）DXリーダー育成プロジェクトが進む。歩行姿勢測定システム導入、紙おむつ・慰労金のデジタル申請化。自走式草刈機貸し出し事業スタート。愛護活動の負担軽減図る（4/1～）
19	【切れ目のない子育て支援施策】 子育て応援チャンネルYouTube「かけっこちゃんねる」を開設。子育て世代に役立つ動画を配信（3/15）こども家庭センター（分離型）を設置。妊娠期から出産、関係機関の連携強化が図られた（4/1）
20	【環境にやさしい農業の拡大へ】 市と日本コカ・コーラ（株）が協定締結。有機農業を広げるための技術的な研究支援を（7/23）
21	【民間企業の活力が推進される】 道の駅掛川が開業20周年（4/26）駅前にはSKしんきんプラザがオープン（4/8）ならこの里キャンプ場・ならこの湯を民間へ譲渡。更なる中山間地域の振興拠点へ期待高まる（4/1）企業情報サービス「カケジョブ」開設（4/1）
22	松本亀次郎記念館動画モニターシステム完成披露。掛川工高生が手掛ける（6/15）二の丸美術館で「水木しげる 妖怪道五十三次と妖怪図鑑」特別展。約13,000人が来場。多くの人でにぎわう（7/27～9/29）
23	文化財保存活用地域計画が国の認定を受ける。三史跡（和岡岡古墳群、高天神城跡、横須賀城跡）の整備などを重点的に行う取り組みを推進（7/19）
24	【上水道の安定供給図る】 原谷配水池完成（3/22）西大谷地区の上水道統合事業始まる（5/20～）
25	【接種費用の一部助成を開始】 おたふくかぜ、帯状疱疹ワクチン任意予防接種の助成開始（4/1）新型コロナウイルス感染症の特例接種は終了。有料接種となる。
26	【国際交流が再開】 米国ユージン市は6年ぶり（8/3～9）、コーニング市は5年ぶり（8/19～25）友好訪問団を派遣。韓国テグハニ大学が来掛（8/28～31）
27	【地域の活性化、移住定住に向けて】 喜多村純さんを地域おこし協力隊に委嘱（2/1）市内初、芳川翠さんを移住コーディネーターに委嘱（10/1）
28	「潮騒の杜」植樹祭、約500本の苗木を植樹（3/2）「潮騒の杜」育樹祭（10/26）市民・NPO・企業・行政が協働で、森林の大切さと命の尊さを共有。
29	多死社会のまちづくりを考える会議を設置。団塊世代の高齢化による本格的な多死社会に備える（9/20）
30	地区集会を全地区を2つに分け隔年開催に。今年度は13会場。